

## 第 16 回議会報告会議事録（要約）

と き	平成 30 年 5 月 11 日（金） 19 時～21 時
と ころ	とどろき荘
テ ー マ	第 1 部：12 月、3 月定例会、各委員会の報告について 第 2 部：車座で議員と語ろう（フリートーク）「地域の課題とまちづくり」
参加者数	11 人
担当議員 16 名	・大畑一千代 ・藤浦 巧 ・高瀬 俊介 ・長谷川幹雄 ・石井 雅彦 ・岸本眞知子 ・小川 忠市 ・小紫 泰良 ・磯貝 邦夫 ・藤尾 潔 ・安田 朗 ・長谷川勝己 ・桑村 繁則 ・山本 通廣 ・二階 一夫 ・井上 茂和
書 記	第 1 部 小紫 第 2 部 第 1 グループ 長谷川（勝）、第 2 グループ 小川
特記事項	



### 【概況】

少人数の参加ではあったが、様々なご意見をいただいた。特に、2部のフリートークでは、時間的な制約の中で、東条地域の小中一貫校に対するものなど、活発な意見交換が行えた。

Q：質問 A：回答

【第 1 部】	
Q 1	東条デイサービスセンター条例を廃止して、普通財産として加東市社会福祉協議会に貸し付け、引き続きデイサービス事業を実施している。公の施設としてはデイサービスセンターはいらないと言いながら、変わりなく事業を継続している。このようなことは考えられない。この件は、いったいどのようなメリットがあるのか。
A 1	条例の廃止は、公共施設適正配置計画に基づき、市がデイサービス事業を行う公の施設として、用途を廃止するためである。これまでは、加東市社会福祉協議会を指定管理者として、事業を実施してきたが、今後は普通財産として加東市社会福祉協議会に貸し付け、社会福祉協議会がデイサービス事業を実施する。これからは、民間にお願いできるものは民間で運営するという考え方である。
Q 2	公共施設適正配置計画の見直しに連動する財政計画で、教育委員会所管施設の金額が増えているが、新たな事業で当初より増えたのか。それとも、事業が具体的になって増えたのか。
A 2	合同審査会の中では、当初の見込みが甘かったという答弁があった。

Q 3	当初より財政的に厳しいということで良いのか。
A 3	その通りである。
Q 4	小中一貫校で 30 億の計算ミスはどのように穴埋めをするのか。
A 4	見込みの不足する額は、起債を起こして何とかやりくりをしていく。
Q 5	学校整備指針で屋上のプールはどうなのか。
A 5	そこまでの説明は受けていない。
【第 2 部】	
第 1 グループ	
Q 1	東条川の桜の木は、以前防虫予防をしたが、現在、コケが生えて弱ってきている。他市町からの見学者もあるので枝切など、本格的な対処をして欲しい。
A 1	当局に伝える。
Q 2	道路の舗装が部分的で汚い。特に東条地区や新加東消防署（上中）あたりが問題であり、早急に取り組んで欲しい。
A 2	当局に伝える。
Q 3	公共施設の適正化は、人口減社会であるため経費など、お金を節約するためにやっていると思っていたが、なぜ小中一貫校などで大金を使い、子供たちに負の財産を残すのか。 また、東条公民館なども使いにくく、市民の集まる場所がない。
A 3	東条地域に於いて、東小学校や西小学校で生徒数の格差も出ている。中学校の体育館やプールにしても校舎と離れている。 児童や生徒の動線を考えれば新校舎に近づけなければならなかったなど、適正化計画全体で、当初の計画から変ってきた。
Q 4	防災無線の音が、緊張感もないし、解りにくい。
A 4	既に市から対処すると聞いている。
Q 5	資源ごみであるペットボトルを中国が輸入しなくなっており、今後の事を考えると怖いと思う。 対応を考えて欲しい。
A 5	よく認識しておく。
Q 6	議会広報の一般質問の記事が分かりにくい。
A 6	記載内容を検討する。

## 第2グループ

Q 1

校舎屋上にプールを設置する方が地上に設置するより安くつくとの説明は信じがたい。

給排水パイプの劣化などで維持費も高くつくのではないか。設備は壊れることを前提に計画すべきだ。

A 1

平成30年4月23日開催の総務文教委員会で、教育委員会から先進地の事例を基に概算を算出し、安くなるとの報告があった。

屋上プールについては、開校準備委員会でも特に反対意見も無かったようである。

Q 2

開校準備委員の方の話によれば、会合は教育委員会が敷いたレールで進行しており、決定事項の報告ばかりのようで、意見が言える雰囲気ではないと聞いている。

A 2

意見としてお聞きする。

Q 3

小中一貫校は、今後、将来的に使用する子ども、その保護者そして先生が一番重要であり、整備についてはその方々に十分説明し、理解を得るべきだ。

A 3

総務文教委員会で、要望があれば出前講座的な説明会を行うとの答弁があったので要請したらどうか。

また、議員の指摘で住民説明会を実施することとなったので、参加されたらどうか。

Q 4

東条中学校のグラウンドを使用するようだが、新校舎から連絡橋を渡って行っていたら移動時間が多くかかるのではないか。

A 4

現東条中学校のグラウンドは、主に体育祭やクラブ活動で使用する。新校舎側にも新しくグラウンドを整備するので、普段の授業への支障はないと考えられる。

Q 5

屋上プール設置はそれなりに安全対策をとっているのだろうが、想定外の地震等が起きることもある。

そのような時はどうするのか。「安全」は本当に担保されるのか不安である。

A 5

東条川が氾濫した場合の想定について議員から指摘をしたが、市長からは「そのようなことを考えていたら何も出来ない。」とのことだった。安全については議会でもさらに指摘していく。

Q 6

小中一貫校の開校後の登校は、スクールバスを利用しない児童は徒歩通学となる。新しい通学路となるので、交通安全対策、防犯対策（防犯カメラ設置）などしっかり行って欲しい。

A 6

学校から3km未満は徒歩通学となる。開校準備委員会の下部の専門部会で協議はされているようだが、安全対策については議会からも要望しておく。

<p><b>Q 7</b></p> <p><b>A 7</b></p> <p><b>Q 8</b></p> <p><b>A 8</b></p> <p><b>Q 9</b></p> <p><b>A 9</b></p>	<p>東条地域を巡回しているバスを利用しようとしてもバス停まで 2km もあり利用できない。利用者もおらず空で走っている状態では無駄ではないか。</p> <p>市長が初参会の時に東条地域にも「自主運行バス」の導入を進めている。と言われたが、地区も高齢者が増えていくため運転手確保が難しくなり導入は難しく、我々では対応策がないのが現状である。</p> <p>住民の移動手段の確保については議会の委員会での先進地視察で調査し、また予算委員会や一般質問でも指摘しているがなかなか難しい課題である。</p> <p>市は地域へ自主運行バス事業を進めているがそれにも問題がある。</p> <p>議会としては、平成 29 年 3 月に策定した「地域公共交通網形成計画」の速やかな実行を求めている。</p> <p>消防団員の報酬が改訂されたことは良いことだが、団員の確保は深刻な問題であり、小さい地区では一度入団したら、なかなか退団できないのが実情である。</p> <p>例えば 30 年所属した団員が退団する時に、市から慰労金を支給していただけたら団員もやりがい生まれるのではないか。</p> <p>消防団員の確保については市全分団での課題でもある。市も「消防団のあり方に関する提言書」を基に様々な施策行うこととしている。</p> <p>ご提案の退職者に対する慰労金については市へ要望しておく。</p> <p>分断合併の話はあるが、各地区から各分団への補助金等の問題もあり難しいのではないか。</p> <p>東条地域は分団が細かく分かれており余計に運営に支障がある。この問題は市が合併した時に整理すべきだったのではと思う。</p> <p>小さい地区では分団運営が難しく、分団同士の合併等の話もあると思いますので、ご意見としてお聞きしておきます。</p>
---	---

<p>当局に照会・要望すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 1 グループ ( Q 1、Q 2 )</li> <li>・ 第 2 グループ ( Q 6、Q 8 )</li> </ul>
<p>議会で対応すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 1 グループ ( Q 6 )</li> </ul>